

平成20年度 福島議定書（大学、専修・各種学校）

大学・専修・各種学校名	受賞状況	主な取組内容
国立大学法人福島大学		<ul style="list-style-type: none"> ・照明のこまめな消灯。昼休み時間の不要な照明の消灯。冷暖房の適正温度設定。水道のこまめな節水。 ・授業、教員会議で使う資料は余分に印刷しない。ごみの排出抑制、分別保管。 ・地球温暖化防止活動の呼びかけ（学内専用掲示板等）。環境サークルによるチラシ配布。 ・教職員（クールビズ・ウォームビズ、一斉終業日（ノー残業デー）を定め実施） ・暖房用ポンプの省エネ改修（インバーター化、保温カバー取付）
福島県立医科大学		<ul style="list-style-type: none"> ・県のエコオフィス実践計画に準じた取組みをし、節電、節水に努めている。
会津大学		<ul style="list-style-type: none"> ・県のエコオフィス実践計画に準じた取組みをし、節電、節水に努めている。
会津大学短期大学部		<ul style="list-style-type: none"> ・節電（昼休み時は必要箇所除き消灯。夜間も必要最小限。廊下等の共用部分は安全確保以外は消灯。暖房使用は必要最小限とし重ね着や膝掛け使用で対応。○A危機はこまめな電源オフや節電機能使用。積極的な階段利用によるエレベーター使用控える。） ・蛇口をこまめに閉めて節水。エコドライブ。 ・裏面利用・両面印刷、会議のペーパーレス化。
農業総合センター農業短期大学校		<ul style="list-style-type: none"> ・県のエコオフィス実践計画に基づき、節電、節水に努めている。
桜の聖母短期大学		<ul style="list-style-type: none"> ・節電、節水のほか、冷暖房のための重油使用の削減に取り組んでいる。
郡山女子大学		<ul style="list-style-type: none"> ・A重油暖房と給湯ボイラーをGHP個別空調機に更新し、本校の環境対策前のH13比で26%削減できた。 ・4番目の学校林「安子ヶ島 開成の杜」に檜5,000本の植樹体験を実施し、エコマインドの啓発を行った。 ・一般廃棄物の削減で、リサイクルの徹底、再資源化の増加により、対前年度比13.8%の削減を達成した。 ・印刷・コピー用紙の削減では、対前年度比13.45%の削減を達成した。
郡山女子大学短期大学部		<ul style="list-style-type: none"> ・A重油暖房と給湯ボイラーをGHP個別空調機に更新し、本校の環境対策前のH13比で26%削減できた。 ・4番目の学校林「安子ヶ島 開成の杜」に檜5,000本の植樹体験を実施し、エコマインドの啓発を行った。 ・一般廃棄物の削減で、リサイクルの徹底、再資源化の増加により、対前年度比13.8%の削減を達成した。 ・印刷・コピー用紙の削減では、対前年度比13.45%の削減を達成した。
日本大学工学部	H20入賞	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ減量化を目指して、学食での割り箸使用を止め、ECO箸に切り替えた。 ・環境美化意識向上を目指して、学生団体による学内清掃活動を実施した。
いわき短期大学		<ul style="list-style-type: none"> ・食堂での割り箸リサイクル、ペットボトルキャップの回収、再生紙への取組、ガソリンの効率的な使用、緑化運動などを展開。 ・H20より、環境保全に関する委員会、美化推進委員会、ボランティアセンターを立ち上げ、更には学生の視点からも参加を呼びかけ、地域に開かれた活動の場（輪）を展開したいと考えている。 ・電気、水道に関して準備段階にあり、ごみ減量化は業者とタイアップを図りながら検討する。

平成20年度 福島議定書（大学、専修・各種学校）

大学・専修・各種学校名	受賞状況	主な取組内容
東日本国際大学		<ul style="list-style-type: none"> ・食堂での割り箸リサイクル、ペットボトルキャップの回収、再生紙への取組、ガソリンの効率的使用、緑化運動などを展開。 ・H20より、環境保全に関する委員会、美化推進委員会、ボランティアセンターを立ち上げ、更には学生の視点からも参加を呼びかけ、地域に開かれた活動の場（輪）を展開したいと考えている。 ・電気、水道に関して準備段階にあり、ごみ減量化は業者とタイアップを図りながら検討する。
いわき明星大学		<p>エコ推進委員会の立ち上げ。稼働していない実験装置などはブレーカーからオフ。各室の空調1℃調整。建物に応じた冷暖房の稼働時間調整。照明スイッチにステッカーの貼り付け。水道蛇口のひねり量の調整。パソコンのこまめなシャットダウン。ファイルサーバーのこまめなシャットダウン。自動販売機照明を夜間はオフ。使用しない給湯器は電源を抜く。駐車場夜間照明の調整。退室時の冷暖房スイッチのオフ。暖房供給時のストーブ使用禁止。学報へ毎月の使用量を掲載。コスト比較のため人文系館の熱源を変更。</p>
大原看護専門学校		<ul style="list-style-type: none"> ・節電、節水に努めている。
学校法人有朋学園東日本高等学院		<ul style="list-style-type: none"> ・学校で決めた具体的な取組内容（冷暖房適正運転。使用していない教室やトイレ照明及び換気扇のスイッチは必ず切る。ごみの分別。）を全校集会やHRで知らせ、周知を図った。 ・その結果、生徒達自身が積極的に室内温度の管理や照明スイッチオフの姿が目立つようになった。 ・このほか、全校あげて、ごみの分別の徹底を図っている。
福島県立総合衛生学院		<p>各クラスにおいて目標を作成し、日々実践した。</p>
学校法人今泉学園 今泉女子専門学校		<ul style="list-style-type: none"> ・暖房温度を17℃設定にしウォームビズを行う。 ・昼休み等は消灯。廊下等の昼間に電気が必要でない場所においては消灯に努める。 ・ごみの分別、リサイクル（ペットボトルキャップ収集等）
学校法人郡山学院ケイセンビジネス公務員カレッジ		<ul style="list-style-type: none"> ・放課後や休日の使用教室の制限。 ・無駄な電気の消灯など。
学校法人郡山学院郡山学院高等専修学校		<ul style="list-style-type: none"> ・エコチェックシートを各生徒に配布し、各家庭で取り組むよう指導した。
専修学校郡山情報ビジネス専門学校		<ul style="list-style-type: none"> ・意識・動機付け ・クールビズ ・冷暖房切替を遅らせるなど
専修学校国際情報工科専門学校	H20優秀賞	<ul style="list-style-type: none"> ・目標を明確にするため、職員用と学生用の取組シートを作成し掲示した。 ・シールを蛇口や照明スイッチ付近に貼り付けた。室温表示シートをエアコン操作パネルに設置。エレベータに階段使用願いシールを貼り付けた。ごみ分別・リサイクル（プルタブ回収、ペットボトルキャップ回収） ・ecoへの知識・関心を高めるため、職員がeco検定を受験した（エコビープル17名）。今後、学生の授業にeco検定を取り入れて受験する。

平成20年度 福島鑑定書（大学、専修・各種学校）

大学・専修・各種学校名	受賞状況	主な取組内容
学校法人こおりやま東都学園 郡山健康科学専門学校		<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化したエアコンを1階・2階のみ新しく入れ替えた。 ・車を低燃費かつコンパクトな車種にし、出張で積極的に使用している。 ・男子トイレ小便器の洗浄水を2回から1回に変更した。 ・全館見回りし、消灯、エアコン停止を徹底的に行っている。 ・ごみ分別（特に学生主体でペットボトルキャップ回収）。
財団法人郡山高等厚生学院 郡山准看護師高等専修学校		<p>冷暖房設定温度の見直し。人のいない部屋のこまめな消灯・冷暖房電源オフ。便座の温度設定1℃下げ。便座のふた閉め。トイレ使用後の消灯。音消し用の水使用をしない。電気製品のプラグを抜く。アサガオ植栽による緑のカーテン。 （個人として）クールビズ・ウォームビズ、徒歩・自転車、エコバッグ使用、自家用車のエコ運転。</p>
学校法人小林学園 福島県理工専門学校		<ul style="list-style-type: none"> ・節電、節水に努めている。
いわきコンピュータカレッジ	H20最優秀賞	<ul style="list-style-type: none"> ・洞爺湖サミット最終日に合わせて決意表明し、新聞記事に掲載された。 ・全学生（特に学生会役員）と全職員で「環境保全見廻り隊」を結成し、日々の点検を実施。 ・照明やパソコン及び周辺機器の電源をこまめに消す。エアコンを適正温度とし、自然の風で過ごす。 ・あらゆる場面・機会に節水・節電に努め、二酸化炭素排出量削減を意識しながら学生生活を送る。 ・リユースファンタジーinかしまの企画事業ペットボトルツリー等のイベント・活動の協賛支援。
永和学園日本調理技術専門学校		<p>節電・節水に努めた。</p>
会津服装専門学校		<ul style="list-style-type: none"> ・アイロンは予熱の利用、まとめて掛ける。 ・パソコン、ミシン、アイロン等の電気のむだをチェック。 ・校舎の周りにつる植物を植え、教室内の温度を下げた。 ・衣類はリサイクル、リメイクを心がけ、ごみにしない。
福島看護専門学校		<ul style="list-style-type: none"> ・学生数の増、土曜日の学校開放による増、となった。
福島介護福祉専門学校		<ul style="list-style-type: none"> ・使用後の教室の電灯はこまめに消す。 ・学校祭で、使用していた使い捨ての丼と皿を廃止し、セト物に替え、ごみの減量化に努めた。